

2026年7月	青空機械新聞 業界ニュースとトレンド紹介	発行 第41号
---------	--------------------------------------	------------

日本国内受注数字

日本工作機械工業会が発表した2026年5月の日本国内需要における工作機械受注は、前年同月比37.3%増の453億2,900万円となりました。期末特需の反動から、前月比では8.0%減と2カ月連続の減少となったものの、5月として450億円の重要節目を堂々クリアし、3カ月連続で400億円超えの堅調な推移を維持しています。

背景には、国内外を巻き込む設備投資の勢いが新年度入り後も持続していることが挙げられます。主要業種が前年実績を大幅に上回る中、特にデータセンターや半導体製造装置向けの投資を含む電気・精密分野が引き続き堅調で、内需全体の強い牽引役となりました。さらに、これまでの低調から一転して主要顧客である自動車向けが前年同月比で大幅増を記録し、内燃機関向け投資の復活やハイブリッド車(HV)関連など明るい動きが目立ちました。企業の投資意欲は非常に根強く、深刻な人手不足に対応するための自動化・省力化投資や、老朽機の更新需要が市場を強力に下支えています。国内外からの大口受注による納期長期化が懸念される今、この旺盛な市場の波を捉え、タイムリーな生産基盤強化へと踏み切ることが今後の明暗を分ける鍵となりそうです。

発行元 会社概要
会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)
代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)
主な事業内容：工作機械販売
住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3
TEL：070-8303-6632
FAX：050-3588-8241
E-mail：aoki@bsmt.co.jp

米国受注急増、宇宙とデータセンター

米国製造技術協会(AMT)が7月13日に発表した最新報告によると、2026年5月の米国の工作機械受注額は前年同月比47.8%増の\$583.4 million(約930億円)と大爆発を記録しました。年初からの5カ月累計でも前年同期比31.9%増の27.6億ドルに達しており、「2026年は横ばいか微減」という年初の市場予測を完全に覆す異次元の活況が続いています。

今、この巨大な受注の波を動かしているのは、これまでの主役だった一般の町工場（契約機械工場）ではありません。5月実績で町工場向けの受注が直近3カ月平均から10%近く落ち込んでいる一方、宇宙開拓の拡大に伴う「航空宇宙産業」からの巨額投資、そして「データセンター」の建設・設備投資に伴う産業機械需要が市場を猛烈に牽引しています。



米国内で約50万人の製造業求人が溢れかえる中、これらの巨大資本は人手不足を力技で解決するため、「高度な自動化機能付き」のハイエンド機を世界中から買い漁っています。この大資本による注文殺到が、日本の工作機械メーカーの生産枠を奪い、中小鉄工所向けの納期をさらに引き延ばす最大の要因です。他社の出方を見ている余裕はありません。供給がさらに逼迫する前に、自社のタイミングで一步先んじる迅速な経営判断が、今まさに求められています。(AMTレポートより)

2026年6月 米国自動車販売台数(新車)

2026年6月の米国新車販売台数は前年同月比7.7%増の136万5,032台でした。6月の季節調整済み年率換算販売(SAAR)は1,650万台/年(前年同月1,580万台)となり、前月から大きく改善したものの、好調の目安とされる1,700万台/年には届かない水準が続いています。6月は中東紛争の影響を受けたガソ

リン価格の高騰は緩和しているものの、なお高位水準での推移を背景に、燃費やエネルギーコストを重視する消費者のハイブリッド車(HV)指向がさらに強まっています。販売全体に占めるHV比率は前年同月比16%増(前月からは2.3%増)となりました。また、インフレやガソリン価格上昇の影響を受けにくい富裕層が新車販

売を下支えしているとの見方もあります。今後も中東情勢の安定化にはなお不透明感が伴い、米国経済、ガソリン価格の先行きに影響を与える可能性があります。

日本車の6月販売は好調を記録しました。トヨタは前年同月比10.1%増となり、トヨタ以外の日系各社は、ホンダ16.9%増、日産8.1%増、スバル18.0%増、マツダ11.3%増、三菱が11.9%増でした。

米国メーカーはGMが前年同月比5.7%増で、前月までの8カ月連続マイナスから増加に転じました。フォードは2.4%減と5カ月連続のマイナスとなりました。ステランティスは7.0%増と10

カ月連続のプラスとなりました。テスラは7.5%減と5カ月連続のマイナスでした。

韓国車の6月販売は、現代自、起亜ともに2桁増でした。現代自は11.2%増となり、HVは74%増となりました。高級車ブランドのジェネシスは21カ月連続で前年同月比プラスとなっており、起亜は10.4%増加、うちHVは187%増でした。

欧州車の6月販売は、VWが33.3%増、アウディが4.5%増、BMWが21.5%増、メルセデスベンツが5.9%増、ボルボが10.5%増でした。

(マークラインズより)

省スペースで工程集約の万能機

今月の注目機種・利益を生み出す1台

世界的な宇宙・半導体特需の裏で大資本が大型機を買い漁り、工作機械の納期は長期化しています。しかし、我々が取るべき道は長い納期を待つことではありません。いま限られた予算と数人の人手の中で、高単価な仕事をすべて自社に引き込む現実解が、ミーリング機能を搭載したTAKISAWAのコンパクト複合旋盤『TCYシリーズ』です。

この機械が「1社に1台あれば便利」な最大の理由は、旋盤とマシニングの工程を完全に集約できる点にあります。特に強力な「Y軸機能」を搭載したことで、従来の旋盤では不可能だった平面削り、正確なピッチでの偏芯穴あけ、キー溝加工などを外すことなく一気通貫で処理。これまで別の機械へ移動し、何度も段取り替えをしていた複数工程の作業が、最初の材料を掴ませるだけの「ワンチャック」で完結します。工程間の移動も段取り替えの待ち時間もすべてゼロになり、少人数の現場であっても圧倒的な高能率化を達成します。



さらに、高額な複合加工機とは異なり、零細企業でも現実的に手の届く価格と省スペースなサイズを実現している点も見逃せません。馴染みのある旋盤ベースの操作性で導入初日から即戦力となり、投資回収のスピードは他を圧倒します。他社の動向を見てから動いたのでは、この身の丈に合った万能機すら手に入らない時代が来ています。「人手がない、予算がない」という悪循環を断ち切り、最小の投資で他社の一歩先を行くために、いまこそ迅速な導入判断が求められています。

<限られた人手で、圧倒的な高付加価値を。>

機械、工場内設備に関してご質問等がございましたら、お気軽に当社までお問合せください。

株式会社青空機械

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

青空機械

検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満40歳)
2009年 (株)兼松KGK 入社
2010年
↓ 同社新潟営業所勤務
2016年
2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
2017年
↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
2020年
2021年 ユアサ商事(株) 入社
↓ 同社新潟支店勤務
2024年
2024年 (株)青空機械 設立